

2022 年度 第 5 回 CPC 研究会 オンデマンド配信

日 時 : 10 月 24 日(月) ~ 28 日(金)
視聴方法 : 申し込みをされた方に、配信 URL をご連絡いたします。
なお、配信 URL の再配布、動画のダウンロードや録画は禁止です。
料 金 : 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 30,000 円
申込締切 : 10 月 18 日(火)

<http://cpc-society.org/>

「ラマン分光で見る炭素材料の形、炭素原子の繋がりと抜け」

信州大学 藤澤 一範 氏

- 1) ラマン分光で見る炭素材料
- 2) 各炭素材料の構造とラマンスペクトル
- 3) sp² 系炭素材料における欠陥分析

炭素材料は多様な構造をとることができ、電子顕微鏡等を用いた直接観察手法で違いがわからない場合が多くあります。ラマン分光分析ではレーザー光を照射した際に炭素材料から出てくる光を分析することで、炭素材料の構造や炭素同士の結合やさらには構造中の欠陥の分析が可能になります。ラマンスペクトルは指紋の様に構造に応じて大きく変化するので炭素材料の構造特定に役立ちます。

「バイオマスの炭素化によるバイオ炭と水素の同時製造と卵殻添加の影響」

福島大学 浅田 隆志 氏

- 1) バイオ炭と水素の同時製造の意義
- 2) スギ炭素化時のガス生成量への炭素化温度と卵殻添加の影響
- 3) スギおよび卵殻熱分解の活性化エネルギーへの卵殻添加の影響(反応速度解析)
- 4) 得られるバイオ炭の細孔特性と含有するカルシウム化合物

地球温暖化の問題を背景として、近年、クリーンエネルギーとしての水素や炭素貯留のためのバイオ炭が注目されています。化石燃料の改質による水素製造は、製造時に二酸化炭素を排出するため、今後は、再生可能エネルギーを利用した水素製造の普及拡大が求められています。本講演では、再生可能な生物資源(バイオマス)であるスギの炭素化によるバイオ炭と水素や一酸化炭素等の可燃ガスの同時製造法の可能性と卵殻添加の影響について紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 03-5821-7439
2022 年度第 5 回研究会のオンデマンド視聴を希望します。

お名前: 維持会員 非会員 大学関係
ご所属:
Tel: Fax: E-mail: